



平成 28 年度保護者よりの意見（まとめ）

園だよりにて掲載

I 職員の資質について

- ①保育者のことばがきつく感じます。
- ②子どもが登園・降園の際無視します。

対応

- 職員一同気持ちを引き締め、言動には気をつけていきます。園長及び主任が責任をもって指導して行きます。
- 子どもの声に気がつかないのを職員は反省し、一人ひとりの声に気づける保育者として改めます。

II 園の保育内容について

- ①シラミの感染を防げていないのでは？
- ②帰りの挨拶で（気をつけ・れい）の合図は軍隊の様に見える。
- ③立って靴を履かせるのはどうしてか？

対応

- ご心配おかけしました。シラミの感染予防の文章を配布しました。協力お願いします。
- 帰る時の声かけで“気をつけ”は普段の保育で並ぶ時に使っております。躰の一環として取り組んでおります。今後もこのまま引き続き行っていきたいと考えております。ご理解をお願いします。
- 小学校へ送り出す迄に身に付けて送り出したい技能として取り組んでおります。ご協力お願いします。

口頭での指導

- ①駐車場で玄関前の門扉ギリギリに車を止めている保護者がいるが危険ではないか。
- ②駐車場で保護者から離れている園児が度々見かける。危険なので保護者に手を繋ぐよう指導してほしい。

対応

- 園バスの前の駐車禁止のポールを立てて侵入を防ぎ、駐車出来ない様にし、口頭で協力をお願いしました。
- 保護者から手を離してしまう園児に職員がその場で、駐車場でのマナーを何度も声かけしています。今後も続けていきます。

